

ここでも生徒主体

3年生は、6月6日から2泊3日で修学旅行に行きました。ここでも、体育祭に続き、修学旅行実行委員が、会議の内容から、ルール、持ち物、さらには集会の企画・運営まで行い、「みんなが充実した修学旅行」になるために、たくさんの時間を使って話し合いを重ね、実行委員を中心に多くのことを決めてきました。

そのおかげもあり、新幹線の中では自由時間が終わった時に、生活係が率先して呼びかけをしていたり、食事の時間にもしっかりとその場を仕切っていたりと多くの場面で3年生の主体的な活動がみられたことが素晴らしかったです。

3日目には、クラス別行動をしましたが、その中でも、実行委員が運転手さんやガイドさんに丁寧なあいさつをしていたことも感心しました。

また、あるクラスの体験学習では、民家に入ったのですが、そこでも誰に言われたわけでもなく、全員が靴をきれいに並べて入って行ったことに、バスガイドさんも「妙典中は素晴らしい」と驚いていました。

「生徒主体の活動」とは「生徒」が自分たちの都合の良いように活動するのではなく、「みんな」が成長できるように主体的に活動していくことが大切です。それが、できているのが、今の妙典中の良さであると感じています。

そして、1年生でも、先日の期末試験で試験監督をしたのですが、5分前には静かに着席をし、カバンもきれいに並べてあったことが素晴らしかったです。

「当たり前のこと」ですが、今後も、それをしっかりとやり遂げられる妙典中生であってほしいと思います。



妙典中生の活躍！！

小学生が下校中、車道に近いところを歩いていたのを見て、妙典中生が「危ないから、こっち歩いて！」と小学生を安全に歩けるように誘導してくれたという話を聞くことができました。心の優しい妙典中生がたくさんいることも素晴らしいことです。

